



## ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

### 1. 11月は「建設業取引適正化推進月間」です。 ～みんなで守る適正取引～

関東地方整備局 建政部

建設業における取引の適正化については、従来から、建設業法(昭和24年法律第100号)の厳正かつ適正な運用により、法令の遵守指導等を通じ、その推進を図ってきたところで

す。しかしながら、依然として建設業の請負契約における不適切な取引が見受けられることから、建設業の健全な発達を促進するため、建設業取引の適正化をより一層推進する必要があります。

このため、毎年11月を「建設業取引適正化推進月間」として、建設業の取引適正化に関し、集中的に法令遵守に関する活動を行っており、本年度も関東地方整備局においては、管内都県と連携を図り、以下のとおり実施いたします。

#### 1.実施期間

平成30年11月1日～30日

#### 2.主な実施内容

- (1)ポスターの掲示
- (2)ホームページ、Facebook等を通じた広報
- (3)建設業者等を対象とした講習会の開催
- (4)立入検査の実施

※詳細については、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

(<http://www.ktr.mlit.go.jp/kensan/kensan00000045.html>)

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [184 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kensan\\_00000080.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kensan_00000080.html)

### 2. 小学生の絵画 応募 758点全て展示！ ～『さいたま新都心小学生絵画展 2018』開催～

関東地方整備局 営繕部

○関東地方整備局営繕部は、「公共建築の日」及び「公共建築月間」のイベントとして、「さいたま新都心小学生絵画展 2018」を開催します。

さいたま新都心の街びらきを機に始め、今年で18回目の開催になります。

○小学校52校から応募のありました作品758点全てを展示します。

○同時開催として、「公共建築パネル展」、ストローハウスをはじめとした「たてもの体験

工作」など、お子様向けイベントもたくさんご用意しております。  
ご来場を心からお待ちしております。

1.日時：

平成 30 年 11 月 24 日(土) 10 時 00 分～16 時 30 分

平成 30 年 11 月 25 日(日) 10 時 00 分～15 時 30 分(表彰式 11 時 00 分～)

2.会場：

さいたま新都心合同庁舎 2 号館 エントランスロビー(入口：庁舎 2 階西側)

\* 入場無料!!

3.URL：

[http://www.ktr.mlit.go.jp/eizen/chiiki/eizen\\_chiiki00000021.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/eizen/chiiki/eizen_chiiki00000021.html)

\* 「小学生絵画展」で検索!!

「公共建築の日」及び「公共建築月間」とは、建物の 4 本の「柱」のイメージと国会議事堂の完成時期(昭和 11 年 11 月)等から、11 月 11 日が「公共建築の日」、11 月が「公共建築月間」となりました。公共建築の果たす役割を国民のみなさまに広く知っていただくため、毎年 11 月に全国各地で様々なイベントが開催されます。

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [2025 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/eizen\\_00000034.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/eizen_00000034.html)

### 3. 地域の魅力を発展につなげる「日本風景街道関東優秀活動賞」を選定しました ～優秀活動賞 4 ルート、特別賞(継続活動賞)3 ルート～

関東地方整備局 道路部

日本風景街道とは、道を舞台に、多様な主体による協働のもと、地域資源を活かした多様で質の高い風景の形成、地域の活性化、観光の振興を図るもので、全国で 141 ルート、うち関東管内では 20 ルートが登録されています。

風景街道関東地方協議会では、創意工夫のもと地域の魅力を発展させ、他のルートの更なる活動推進に繋がる取り組みを行ったルートに対し表彰を行っています。

このたび、平成 28、29 年度の活動を対象に、日本風景街道関東優秀活動賞として、優秀活動賞 4 ルート、特別賞(継続活動賞)3 ルートを選定いたしました。

【関東優秀活動賞選定結果】

□ 優秀活動賞〔地域活性化への寄与部門〕

『ロングビーチ癒しの九十九里街道』(千葉県)／『東海道風景街道』(神奈川県)

□ 優秀活動賞〔美しい国土景観の形成部門〕

『江戸・東京・みらい街道』(東京都)

□ 優秀活動賞〔観光振興への寄与部門〕

『いたこあやめ花街道』（茨城県）

□特別賞(継続活動賞)

『甲州夢街道(八王子・相模湖・藤野エリア)』（東京都・神奈川県）

『北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート』（長野県・新潟県）

『浅間・白根・志賀さわやか街道』（群馬県・長野県）

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1780 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000217.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000217.html)

#### 4. 「災害時の基礎的事業継続力」新たに 37 社を認定 ～災害対応業務の円滑な実施に向けて～

関東地方整備局 企画部  
港湾空港部

【平成 30 年度第 2 四半期の認定(新規 37 社、継続 88 社)】

国土交通省関東地方整備局は、平成 30 年度第 2 四半期に新規申請のあった 37 社と継続申請のあった 88 社について、「建設会社における災害時の基礎的事業継続力評価要領」に基づき評価し、認定しました。(認定期間：平成 30 年 10 月 1 日～平成 32 年 9 月 30 日)

平成 30 年 10 月 1 日時点で、693 社が認定を受けています。

■「災害時の基礎的事業継続力」認定について

本認定は、建設会社における事業継続計画の策定を促進し、災害対応業務の円滑な実施と地域防災力の向上を目的に建設会社の基礎的事業継続力を関東地方整備局が評価し「災害時の基礎的事業継続力」を認定しているものです。認定は本文資料(PDF)別紙の項目について評価を行い、適合した建設会社に対し、関東地方整備局が 2 年間の有効期限をもつ「災害時の基礎的事業継続力認定証」を交付します。

■今後の認定スケジュール

四半期毎に評価認定を行います。

今回は平成 30 年 10 月末迄の申請会社を対象に評価し、平成 31 年 1 月に認定を行う予定としています。

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1139 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku\\_00000606.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000606.html)

## 5. 明治記念大磯邸園「明治 150 年記念公開」～10 月 23 日から 12 月 24 日まで～

関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

国土交通省関東地方整備局では、地方公共団体との連携の下、「明治 150 年」関連施策として、旧伊藤博文邸(滄浪閣)等を中心とする明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用を図るため、神奈川県中郡大磯町において、明治記念大磯邸園の整備を進めています。

本年は、明治改元から満 150 年にあたることを記念し、区域の一部を公開します。

### 【明治記念大磯邸園明治 150 年記念公開について】

#### 公開期間

平成 30 年 10 月 23 日(火) 13 時から

平成 30 年 12 月 24 日(月) 16 時 30 分まで

#### 会場

明治記念大磯邸園(神奈川県中郡大磯町西小磯 85・東小磯 285)

#### 開園時間

9 時～16 時 30 分(最終入園は 16 時まで) 10 月 23 日(火)のみ 13 時～開園

#### 休園日

毎週水曜日(公開直後の 10 月 24 日は開園します)

#### 入園料

無料

#### 公開内容

##### 庭園：

旧大隈重信邸、旧陸奥宗光邸の庭園をご覧になれます。(当日受付)

##### 邸宅：

旧大隈重信邸と旧陸奥宗光邸の建物内、旧伊藤博文邸(滄浪閣)の外観をご覧になれるガイドツアーを実施します。

(事前申し込み制(※)。10 月 1 日(月)より予約開始となります。)

##### 展示：

明治期の立憲政治や邸宅の人物にゆかりのある資料の展示を行います。

#### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [549 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/showa\\_00000040.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/showa_00000040.html)

## 6. 地域インフラサポートプラン ～「技術者スピリッツ」紹介～

関東地方整備局 企 画 部

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作ろうと技術者が日々努力をしています。世界に一つだけの工事に携わる技術者に光をあて、関東地方整備局ホームページ ([http://www.ktr.mlit.go.jp/gi\\_jyutu/index00000022.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/gi_jyutu/index00000022.html)) にて紹介しています。

(現在、235話まで掲載中)

是非ご覧いただき、「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/gi\\_jyutu/index00000022.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/gi_jyutu/index00000022.html)

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. 地下水の課題に取り組む地方公共団体の一助に！

～全国の地下水条例を詳細に分類・整理し、初めてとりまとめました～

国土交通省では、全国の地方公共団体が策定している地下水関係の条例を収集・整理しホームページで公表しました※1。

全国の地下水関係の条例の制定内容を詳細に分類・整理したのは初めてであり、これから地下水に関する条例の制定を含む「地下水マネジメント」※2に取り組む地方公共団体にとって参考となるものです。

○ 国土交通省では、水資源としての利用や過剰な地下水採取に起因する地盤沈下のリスクなど、地域において、地下水の利用や課題等に取り組む「地下水マネジメント」の実施状況を把握するため、全国の地方公共団体の地下水保全や利用等に関する条例の制定状況を調査したところ、平成30年8月時点で、601の地方公共団体において740条例が制定されていることが確認されました。

○ これらの条例は、その目的や規制の内容・水準など多岐にわたっており、これから地下水に関する条例の制定を含む「地下水マネジメント」に取り組む地方公共団体にとって参考となるものです。

※1 地下水条例の調査結果は国土交通省のHPで掲載しています。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo\\_mizsei\\_fr1\\_000038.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo_mizsei_fr1_000038.html)

※2 地下水マネジメントとは、地下水の利用や地下水に関する課題等について、地下水域を共有する関係者間で、地域毎の共通認識の醸成や、地域社会における地下水の持続的な利用や地下水挙動の実態把握とその分析、保全、涵養、採取等に関する地域における合意形成やその内容を実施すること。

添付資料

[報道発表資料](#) (PDF形式: 167KB) 

[参考資料](#) (PDF形式: 961KB) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/water01\\_hh\\_000108.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/water01_hh_000108.html)

### 2. 平成30年度 入札契約改善推進事業の支援事業者決定

～施工時期等の平準化など地方の入札契約改善へ～

地方公共団体が抱える入札契約制度の課題に対して、改善・推進を支援する「入札契約改善推進事業」について、支援案件5件の支援事業者を決定しました。

国土交通省では、公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律（平成2

6年法律第56号)等の施工を踏まえ、発注者である地方公共団体における多様な入札契約方式の導入・活用を促進するため、平成26年度から、他の発注者のモデルとなる発注への支援を行ってまいりました。

平成30年度は、多様な入札契約方式の導入・活用支援だけでなく、発注方式の見直しや施工時期等の平準化など入札契約制度全般に対象を拡大し、7月4日に5件の支援案件を選定して、これらへの支援を実施する支援事業者の公募を行ったところですが、今般、次のとおり支援事業者が決定しましたのでお知らせします。

#### 1. 支援案件（入札契約改善推進事業）及び今回決定した支援事業者

地方公共団体	支援対象事業	支援事業者
愛川町(神奈川県)	施工時期等の平準化検討事業	株式会社URリンケージ
	地域の担い手確保対策検討事業	
むつ市(青森県)	道路除排雪に係る改善検討事業	株式会社建設技術研究所
四万十市(高知県)	文化複合施設整備事業	明豊ファシリティワークス株式会社
横須賀市(神奈川県)	こども園整備事業	

#### 2. 主な支援内容

- 支援対象事業の性格や地域の実情等に関する課題の整理
- 最適な入札契約制度・方式等の検討
- 新たに導入する入札契約制度・方式等において必要となる諸手続の支援 等

#### 3. 今後の予定 平成31年3月下旬まで 支援対象事業に向けた支援

#### 添付資料

[入札契約改善推進事業の支援事業者決定](#) (PDF形式) 

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13\\_hh\\_000592.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13_hh_000592.html)

### 3. 防災に役立つ情報150 サイトを見やすくカテゴリズ!

～「Disaster Prevention Portal / 防災ポータル」のコンテンツを充実!～

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催前や開催中に首都直下地震が発生することも想定し、国土交通省及び各関係機関の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応により、海外や国内に対して平時から容易に防災情報等入手できる防災ポータルを開設しています。

本日、平成30年7月豪雨、平成30年2月の大雪、平成30年3月の霧島山（新燃岳）噴火等、近年頻発する災害を踏まえ、地震以外の災害の情報やライフライン情報、多言語対応サイトを追加する等、コンテンツを充実しました。

(1) 更新日 平成30年10月5日

(2) 主な変更内容

風水害、雪害、火山災害等の情報やライフライン情報、観光情報、多言語対応サイトを追加。

- (3) 対応言語 日本語、英語、中文（簡体・繁体）、韓国語  
(4) サイトURL <http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>

#### 添付資料

[報道発表資料](#) (PDF 形式) 

[【別紙】防災ポータル機能拡充](#) (PDF 形式) 

[【別紙】防災ポータルパンフレット](#) (PDF 形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo06\\_hh\\_000134.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo06_hh_000134.html)

## 4. サービスエリアや「道の駅」における子育て応援の今後の取組方針をとりまとめました

世界に先駆けて少子高齢社会を迎えた我が国において、子育て世代を応援する施策を推進していくことは非常に重要です。

このため、高速道路のサービスエリアや「道の駅」における子育て応援の今後の取組方針をとりまとめました。

今後、高速道路会社や地方自治体と連携しながら、子育て応援施設の整備を加速してまいります。

<取組方針>

重点整備箇所 全国的高速道路のサービスエリア、国が整備した「道の駅」  
[ 220 箇所] [ 269 箇所]

整備目標

### (1) 基本的な機能

- ① 24時間利用可能なベビーコーナーの設置
- ② 妊婦向け屋根付き優先駐車スペースの確保
- ③ おむつのばら売り
- ④ 施設情報の提供
  - ・ 概ね3年以内に全ての箇所の整備を完了する
  - ・ 今年度中に対応可能なところについては、速やかに実施する
  - ・ 今後、新たに整備する箇所については標準装備とする

### (2) 更なる機能改善

- ・ 子供用トイレやキッズスペースなど、先進事例を共有しながら順次整備を進める

※重点整備箇所以外的高速道路のパーキングエリアや地方が整備した「道の駅」についても、高速道路会社や地方自治体と連携してニーズの高い箇所から優先的に実施する。

添付資料

[記者発表資料](#) (PDF 形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001081.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001081.html)

## ◆◆地域の動き◆◆

### 相模原市の幹線道路整備について ～県道52号(相模原町田)の整備とストック効果～

相模原市 都市建設局 道路部 道路計画課

#### 1. 相模原市の幹線道路の整備

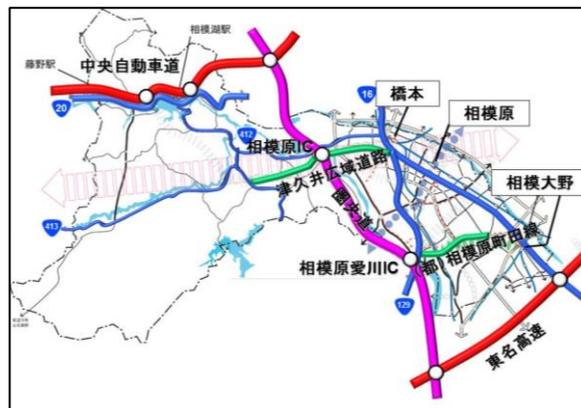
本市では、平成27年3月に「首都圏中央連絡自動車道（圏央道）」の神奈川県区間全線が開通したことにより、大型物流施設の建設や企業の進出、既存工業団地の地価の上昇、市内を通過する大型車交通が圏央道に転換するなど様々なストック効果が現れています。

さらに、圏央道IC周辺では、その立地特性を生かし、産業を中心とした「新たな都市づくりの拠点」の形成を進めています。

また、リニア中央新幹線神奈川県駅設置や相模総合補給廠一部返還等を生かした「広域交流拠点」の形成など、様々な大規模プロジェクトが進行しています。

道路整備につきましては、これまでに圏央道のアクセス道路を中心に各拠点間を結ぶ幹線道路の整備など、本市の骨格をなす道路整備に取り組んできましたが、一部の幹線道路では、依然として交通渋滞の発生や生活道路への通過交通の流入などが課題となっています。

こうした状況を踏まえ、幹線道路の整備を効率的かつ効果的に実施するため、優先すべき施策や事業を定めた「相模原市新道路整備計画」を策定し、新たなまちづくりを支える道路ネットワークの形成や、現状の道路交通課題の解決に向けた整備を進めています。



相模原市の主要な幹線道路

#### 2. 県道52号(相模原町田)の概要

県道52号(相模原町田)は、相模原愛川ICと国道16号を結ぶ市内延長約8kmの主要な幹線道路であり、神奈川県第1次緊急輸送道路に指定されているほか、沿道には工業団地、災害拠点病院、大学、高等学校が立地するなど、通院、通学においても重要な道路となっています。

相模原愛川 I C の開通に併せ、I C から県道 46 号 (相模原茅ヶ崎) までの約 990 m は 4 車線の拡幅整備が完了していますが、その先の国道 16 号方面では、2 車線であることから、踏切や主要な交差点の慢性的な交通渋滞、バスの定時性・速達性が確保されていないこと、通勤・通学の自転車の錯綜などが課題となっています。また、沿道では I C 周辺の立地特性を生かし、当麻地区及び麻溝台・新磯野地区で産業を中心とした「新たな都市づくりの拠点」の形成が進められており、交通量の増加によるさらなる道路混雑が予想されます。



原当麻第一踏切の渋滞の様子

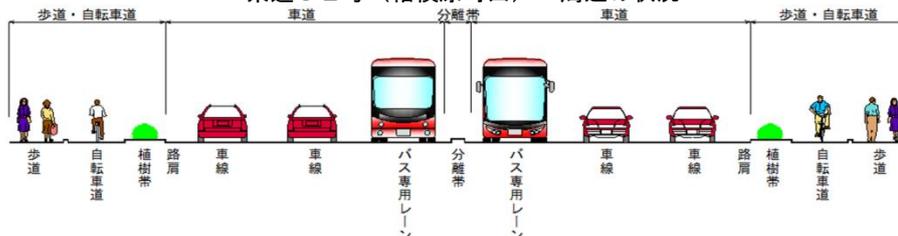


改良後の様子 (イメージ)

このようなことから、平成 26 年度に、県道 46 号 (相模原茅ヶ崎) から国道 16 号方面に向かって 4 キロメートルの区間の都市計画決定を行い、「新たな都市づくりの拠点」と I C のアクセス強化や、安全で安心な道路環境の確保に向け、4 車線化や自転車道の整備、立体交差化による J R 相模線原当麻第一踏切の除去を進めています。また、バス交通の定時性・速達性の確保に向け、県道 52 号 (相模原町田) の整備にあわせて、一部の区間で、道路内にバス専用レーンを設置し連節バスを走行させる B R T (Bus Rapid Transit) の導入を進めています。



県道 52 号 (相模原町田) 周辺の状況



バス専用レーンの整備イメージ

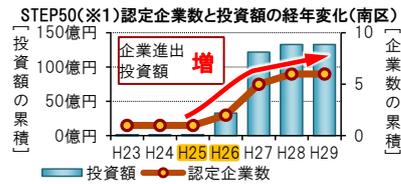
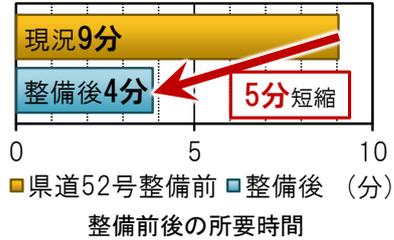
### 3. 県道52号(相模原町田)の整備により期待される効果

立体交差化による踏切の除去や、4車線化により、慢性的な交通渋滞の緩和が期待されており、県道507号(相武台相模原)との交差点から相模原愛川ICまでの所要時間は現況の9分から4分に短縮される見込みです。また、自転車道の整備により、歩行者・自転車・自動車が分離されることから、交通事故の減少や安全性の確保も期待されます。

さらに、これまでも圏央道の開通により、相模原愛川IC周辺では企業進出・投資額の増加といった効果が現れていますが、現在進めている「新たな都市づくりの拠点」の形成と道路整備を一体的に進めることで、さらなる経済成長の促進も期待されます。

このように、県道52号(相模原町田)の整備により様々な効果の発現が期待されることから、早期完成に向け、引き続き事業を進めていきます。

#### 県道507号交差点から相模原愛川ICまでの所要時間(見込み)



H25.3 海老名JCT~相模原愛川IC開通  
H26.6 相模原愛川IC~高尾山IC開通

#### 南区の企業数・投資額の推移



当麻宿地区の様子



麻溝台・新磯野地区の将来イメージ

(※1) さがみはら産業集積促進事業 (Sagamihara Tomorrow Expansion Project)

出典

【整備前後の所要時間】: 相模原市大規模事業評価調査[県道52号(相模原町田)道路改良事業]

(H24.8.28作成)より作成

【南区の企業数・投資額の推移】: 『STEP50』認定企業等一覧(H30.6.1時点)より作成